

事務事業名	道路施設整備事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	公共土木G	
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	内田慎二	
	目的: 対 象	市民	意 図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。	電話番号	0854-40-1063 (内線) 2471
	基本事業名	〈035〉道路の維持管理		予算科目	会計 款 大 事 業 大 事 業 名 0 1 4 0 0 2 道 路 施 設 管 理 事 業 項 目 中 事 業 中 事 業 名 1 0 1 0 1 2 道 路 施 設 整 備 事 業	
目的: 対 象	道路利用者	意 図	安全に移動できる。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H25 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
<ul style="list-style-type: none"> ・道路維持管理計画に基づく、修繕箇所を毎年度ローリングによる評価で優先度を決定。 ・優先度の高いものから当該年度修繕工事箇所を選定し、修繕を行う。 ・毎年度、新規修繕箇所を加味した道路維持管理計画を策定し、修繕箇所のローリングによる再評価を行う。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R2年度実績(R2年度に行った主な活動) 【工事】 ①道路維持管理計画による優先度評価 ②当該年度修繕工事箇所の選定 ③積算、工事発注 ④工事検査 ⑤道路維持管理計画に基づく再評価	R3年度計画(R3年度に計画する主な活動) 【工事】 ①道路維持管理計画による優先度評価 ②当該年度修繕工事箇所の選定 ③積算、工事発注 ④工事検査 ⑤道路維持管理計画に基づく再評価				
	② 活動指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)
ア	契約件数	件	8	6	7	0
イ	修繕箇所(工区)数	箇所	13	3	2	0
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)	
	①生活道路の利用者 ②修繕が必要な生活道路等	ア	人口【国勢調査(推計)】	人	37,012	36,248	36,024	35,818
		イ	市道延長	km	1,112	1,111	1,108	1,108
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(計画)		
①市内を安全で迅速に移動できるようにする。 ②修繕(補修)等を実施する。	ア	生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	68.5	63.3	65.2	65.2	
	イ	生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	64.6	72.3	65.7	65.7	
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (2年度決算)	② コストの推移	単位	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(計画)
【委託料】 古城下口線土地分筆登記業務 959千円 【工事請負費】 梅木曾木線舗装工事 9,999千円 古城下口線排水路整備工事 7,063千円 【公有財産購入費】古城下口線3名 173千円 【補償費】水道補償費 712千円 【地方債】辺地債9,400千円 合併特例債8,400千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円	33,600	20,200	17,800	38,400
	その他	千円				
	一般財源	千円	1,048	757	1,106	2,392
	事業費計(A)	千円	34,648	20,957	18,906	40,792
	人件費	人	3	3	3	
	正規職員従事人数	人	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	360	360	360	
	人件費計(B)	千円	1,560	1,526	1,515	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	36,208	22,483	20,421	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・平成24年度に道路維持管理計画を策定し毎年見直しを行い、起債及び一般財源により本事業を実施している。	・一般財源のみで開始した事業であるが、路面修繕は、交付金の対象外となった為、この事業で特定財源(合併特例債)を利用し修繕を行っている。また、局所的な改良についても、計画的な事業実施を行っている。	・市民から路面修繕及び局部改良の要望がある。 ・市民から路面修繕及び局部改良について喜びの声がある。 ・議会から局部改良の重要性和、特に、計画的な法面の防草コンクリートの必要性を指摘されている。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 理由 <input type="checkbox"/> 向上余地がない	・道路パトロールにより修繕箇所を把握することは十分出来ているが、十分な修繕には至っていない。 ・平成26年度に道路ストック点検を行い、優先度評価や特定財源の確保に努めることで、成果の向上が見込まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 理由 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	・廃止すれば、道路の安全性が低下する。 ・市民からの修繕要望に応えられなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合 → (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由	・道路維持管理計画で、通常維持である道路維持補修事業と大規模修繕である本事業について整理しており、類似事業の統廃合はない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある 理由 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	・道路維持管理等に必要な経費である。 ・修繕要望箇所は多く、本事業の拡充を望む声もある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある 理由 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	・道路維持管理等に必要な経費である。 ・修繕要望箇所は多く、本事業の拡充を望む声もある。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 理由 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	・市内全域の道路維持管理を行うものであり公平である。 ・市が行うべき道路維持管理であるため、受益者負担はない。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果 A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 1次評価結果の総括(根拠と理由) ・本事業は市民、議会及び職員にも事業効果について理解を得られていると考えている。 ・優先度評価や特定財源の確保に努めることで、対応できなかった修繕を計画的に行うことができ、道路利用者の安全が確保できる。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果																					
・R元年度～R5年度にかけて、2巡目の道路ストック点検(路面性状調査)をし、健全度判定を行い、要対策の路面修繕を図る。 ・維持管理計画に基づき、計画的に特定財源(合併特例債)を利用し、事業完了を図る。 ・道路改良事業で出来ない箇所は、局部改良で検討し対応して行く。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;"> 廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。 </p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		